

2020 年 1 月幹事会

2019 年度会計幹事：山口順一

会計幹事資料

1. 2019 年 第 42 年会の会計報告

第 42 年会会計報告の概要を以下に示す。参考として、第 40 および 41 年会の会計報告の概要を付記した。詳細は別紙 1 の会計報告書（会計監査済）を参照されたい。

	第 42 年会	第 41 年会	第 40 年会
収入			
参加費	2,124,000 円	2,002,000 円	2,048,000 円
ブース使用料	245,000 円	238,000 円	166,000 円
談話会補助（支出－収入）	2,521,617 円	2,718,872 円	3,330,466 円
支出			
謝礼・交通費	917,430 円	891,000 円	1,101,000 円
ホテルへの支払い	3,835,692 円	4,057,187 円	4,375,699 円
事務局経費	22,484 円	10,685 円	63,307 円
テニス大会（40 年会のみ）	—	—	4,460 円
支出合計	4,890,617 円	4,958,872 円	5,544,466 円

2. APDD への支援要請について

APDD の山崎代表理事から薬物動態談話会に支援（10 万円）要請があった（別紙 2）。支援の是非についてご審議頂きたい。

3. ISSX 会員登録見直し結果

薬物動態談話会費用負担による 2020 年度の ISSX 会員継続登録候補 4 社（日本ケミファ、バ イエル薬品、MeijiSeika ファルマ、持田製薬）に対し、ISSX 活動状況アンケートを行った。質問内容は前回実施したアンケートと同様（2018/4 幹事会議事録参照）。その結果、活動実績がない等の理由により、4 社全てから登録継続辞退の申し出があった。よって、本年度をもって談話会としての会員登録補助は終了とする。

【アンケート】

- ① ISSX 会員として直近 3 年間（2017～2019 年）で参加された ISSX Meeting を全てお答え下さい。
- ② 2019 年に実施された ISSX Council の選挙では投票されましたか？
- ③ 2020 年に開催される ISSX 関連 Meeting 等への参加予定はありますか？参加あるいは参加予定の学会をご回答下さい。
- ④ 今後も談話会費用負担による ISSX 会員登録を希望しますか？

4. その他

● 会計内規改訂予告

講演謝礼改訂に関する 2019 年 11 月幹事会での議決事項※を盛り込んだ会計内規改訂案を作成した。後日回覧のうえ最終化したい（2020 年 4 月例会より適用）。

※ 2019 年 11 月幹事会議事録より抜粋

- ① 特別講演料を 60,000 円に統一する。
- ② 年会、例会、演習セミナーの謝金の最高額を 60,000 円に引き下げる（現行の 75%）。これに伴い、他の講演料も平行して現行の 75%とする。
- ③ 夏セミナーにおける特別講演料（40 分以上 60 分まで）を 60,000 円とする。
- ④ 企業倫理及びコンプライアンスの問題で、企業の講演者は謝金を受け取らないことが多いので、企業講演者に対する謝金は廃止する。

● 4 月例会の特別講演演者に対する交通費・謝礼について

特別講演 演者	所属	交通費	謝礼
Tal Burt 先生	・Phase-0/Microdosing Network ・Burt Consultancy, LLC	東京-千里中央往復 (新幹線普通指定席)	無
Graeme Young 先生	GSK	東京-千里中央往復 (新幹線普通指定席)	無

以上

別紙1

2019年 薬物動態談話会 第42年会 会計報告

オークラクトシティホテル浜松

収入の部

1. 参加費	単価	人数	金額
全日程参加	30,000	61	1,830,000
全日程参加 (宿泊なし)	22,000	6	132,000
1日目のみ参加 (宿泊あり)	18,000	1	18,000
2日目のみ参加 (宿泊なし)	12,000	3	36,000
2日目のみ参加 (宿泊あり)	20,000	5	100,000
常任幹事/講演者宿泊費のみ	8,000	1	8,000
参加費合計			2,124,000
2. 展示ブース使用料	単価	社数	
小間A	65,000	1	65,000
小間B	36,000	5	180,000
展示合計			245,000
3. 薬物動態談話会補助 (支出 - 収入の差額金を補助)			2,521,617
収入合計			4,890,617

支出の部

1. 謝礼・交通費	謝礼	交通費・お車代	金額
謝礼	420,000	-	420,000
交通費	-	497,430	497,430
小計			917,430
2. ホテルへの支払い (オークラクトシティホテル浜松)			
会場、機材使用費、昼食、飲み物費用、懇親会、2次会等 (ミニバー、駐車場代含む)			2,590,292
宿泊費用 (不泊代、部屋代追加料金を含む)			1,245,400
小計			3,835,692
3. 印刷会社への支払い (オリビア印刷)			
プログラム講演要旨印刷製本費 (130部、印刷サンプル送料含む)			115,011
小計			115,011
4. 事務局経費			
庶務幹事諸経費 (宅急便費用、資料郵送関係費用)			12,429
企画幹事諸経費 (二次会景品購入費)			6,480
会計幹事諸経費 (封筒購入費)			495
振込み手数料 (オークラクトシティホテル浜松)			880
振込み手数料 (オリビア印刷)			440
振込み手数料 (産業技術総合研究所)			440
振込み手数料 (キャンセル者2名分返金)			880
振込み手数料 (久保庶務幹事)			440
小計			22,484
支出合計			4,890,617

以上のとおり、相違ございません。

薬物動態談話会 2019年度会計幹事
山口 順一 (大正製薬株式会社)

令和元年 12月 16日

山口順一 

監査報告

以上の会計監査について監査の結果、相違ない事を認めます。

薬物動態談話会 2019年度会計監査
楠瀬 直人 (株式会社住化分析センター)

令和元年 12月 18日

楠瀬直人 

別紙2



薬物動態談話会
常任幹事 森原 隆 先生

2019年12月17日

一般社団法人 医薬品開発支援機構
代表理事 山崎 浩史



『マイクロドーズ臨床試験第二回国際会議』へのご支援のお願い

師走の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、2020年4月20日に東京、日本橋ライフサイエンスビルディングにおきまして、国際的にマイクロドーズ臨床試験を推進し米国に拠点をおく Phase-0/Microdosing Network と医薬品開発支援機構APDDが合同で、アジア地区でのマイクロドーズ臨床試験の現状と将来を討議する国際会議 <http://www.apdd-jp.org/symposium/202004/index.html>を、下記プログラムにて開催する運びとなりました。

昨今の環境は厳しいものがあることを十分に認識致し、本会は可能な限り質素に運営することを第一義に考えております。しかしながら、成功裏に開催すべく、国内外の皆様のご参集に便利な会場を用意し、海外の第一線の演者を招くなど、鋭意準備に当たっております。ここに運営経費拡充を願い、貴会よりの御支援（10万円）をお願い申し上げる次第であります。

何卒よろしくご協力、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

記

9:30～12:45 基調講演

演者：

Tal Burt M.D. (アメリカPresident Phase-0/Microdosing Network代表)

Graeme Young Ph.D. (イギリスGSKフェロー)

Woojin Lee Prof. (韓国ソウル大学)、 杉山 雄一 Ph.D. (理化学研究所)

山浦 由之 Ph.D. (小野薬品工業)、 宮武 大輔 Ph.D. (アステラス製薬) 他

12:45～13:45 休憩

13:45～15:30 個別グループディスカッション(参加者を4つに分けた分科会)

15:30～15:45 休憩

15:45～17:30 全体でのまとめの会議

以上